

投稿ノート

成長のあかし

いつの頃からか息子が目標としていた「スーパーカブ」になることができました。

カブ過程の3年間あれば余裕で全部取得できると考えていたチャレンジ章。いくつもの課題があり、また長期に渡り観察を続けなくてはならない課題、調べてノートにまとめなくてはならない課題が複数あり、学校の宿題や他の習い事、学校での運営委員の活動との両立が大変でした。

「ノートを上手にまとめられる子は、頭が良くなる。」そんな話を聞いていたため、ノート作りの勉強を兼ね、初めは試行錯誤で親子で取り組んでいました。うさぎの過程では、私のアドバイスを受けながら取り組んでいましたが、「しか」の過程になった頃から、自分自身で課題をこなしていききました。

現在は4月から学生となった母と、5月から水泳選手となった妹のため、とても忙しくなってしまった家庭を支えてくれる頼もしい存在となっています。自分のまとめたチャレンジ章のノートの料理レシピを見ながら料理を作ってくれたり、どこかでレシピを調べては料理を作ってくれます。

また、さりげなく他の家事もお手伝いしてくれたり、これは彼が生まれもった性格もあるかもしれないのですが、チャレンジ章で学んできた成果でもあるのかなと思っております。

この経験は今後の彼にとって大きな財産となっていくでしょう。

最後に息子のチャレンジ章取得に際し、ご指導いただきました隊指導者の皆様に厚く御礼申し上げます。

スカウト 小川優輝 保護者 小川万里子

国旗について

団委員(トレーニング) 森 裕次

ボーイ隊になると必ず国旗掲揚を担当することになりますが、今回は国旗について少し考えていきたいと思います。まず、日の丸はいつできたのでしょうか——いまから1150年前の書物に記載されているのが一番古いものであるようです。西暦でいいますと860年あたりといったところでしょうか。正式に制定されたのはかなり最近のことで、140年ほど前の明治3年とされています。国旗の日の丸の円は「始めなく終わりなく、終始終わることのない円満な徳と太陽のような無限の包容力、永遠の繁栄と平和な心」を表し、白地の部分は「純白の曇りを知らぬ理知の光と神聖、純潔、平和の観念」を表わしていると考えられています。

ところで、国旗は旗だけで国旗ではありません。旗、竿(ポール)、冠頭(玉)の3つがそろって正規の国旗となります。したがって天井から吊り下げたり壁に貼るのは正しい掲揚法ではないようです(ボーイでは室内で三脚を使っていますね)。ボーイ隊なら国旗の掲揚法、国旗のたたみ方は当然知っていると思いますが、是非、半旗(弔旗)の上げ方、外国旗の掲揚や国旗のたたみ方などもWEBや書籍などを活用して研究することをお勧めいたします。最後に、国旗儀礼の号令は「国旗掲揚」もしくは「国旗降納」で「上げ」もしくは「おろせ」となります。「上げ」「おろせ」はその場の最上位の方が号令を発します。基本ですので間違いないように覚えておきましょう。



ちょっと知っとこ
BSコラム

団からのお知らせ

わんぱくキャラバン

9月23日、スカウトハウスでわんぱくキャラバンが開催されました。今年もゲームあり、名物焼きそばあり、楽しい一日をスカウトみんなで行うことができました。その当日には、早くも数人の入隊が確定して、キャラバンの成果をあげました。6団にもまた新しい仲間が増えてにぎやかになってきました。

入隊、上進式

10月1日、恒例の入隊、上進式が松明の明かりの中で行われ、新しい制服で気持ちもビシッとして、みんな新たな目標をそれぞれ胸に誓っていたようです。

団のホームページ見てね!

瀬戸6団ホームページアドレス <http://seto6.web.fc2.com/>
ホームページ管理者 森 メールアドレス yupon31@yahoo.co.jp

平成23年度 尾張ブロック プログラムセミナーVS部門開催

- 平成24年1月15日 蟹江町にて
- 参加者は12月25日までに隊長を通じて申し込みしてください。
- 内容/プログラムの企画について

★編集後記

これから気候のよい季節です。夏のキャンプの暑い楽しい日々もあっという間に過ぎ、次のプログラムに向けて、スカウトたちの真剣な表情が印象的です。皆さんの活動報告をまた楽しみに、仕事のパソコンに向かう日々が続いています。

今回の表紙の池の水が透明度が高く、スカウトたちも思わず飛び込みたくなったのでは。夏の高原の冒険の様子が想像できますね。

小島